

神奈川県病院学会で 研修発表を行いました

◆3B病棟 吉田美香子看護科長より

一般的に、高齢者は免疫機能の低下によりさまざまな感染症にかかりやすく、発熱は頻繁に経験する症状の一つです。今回の研究では、発熱とクーリング（アイスノンなどで身体を冷やす）の因果関係を検証し、院内の看護師全員で研修を行いました。発熱とクーリングのアルゴリズムを作成し、院内で共有したことで、発熱時の看護判断を向上することができました。

※アルゴリズム
問題を解決するための方法や手順のこと。

◆3B病棟 橋本多賀子看護係長より

熱が出た時に冷やすのは常識？
病名や症状・環境などを配慮し、より良い看護ができるようにと考え、この研究に取り組みました。
スタッフへの意識調査から研修へと発展し、学会発表をすることができ、貴重な体験に繋がりました。



SINNAKA STYLE 平成28年4月吉日発行 第3号

SINNAKA STYLE

03
TAKE FREE



ほっとニュース



駅前広場一日保健室 開催のご案内

◇日時：平成28年5月12日（木）
10時00分～15時00分
◇会場：相鉄線

南万騎が原駅 駅前広場

編集＆発行 新中川病院ホームページ委員会 URL <http://www.hoyukai.org/shin-nakagawa/>
新中川病院 横浜市区池の谷3901 TEL 045-812-6161 FAX 045-812-6806



編集後記

看護部では、全ての看護職員が学びの機会を得られるよう研修の計画をし、積極的に看護ケアの向上に努めています。
また、研修を通して学んだことや気付いたことを実際の看護ケアに活かせるよう皆で話し合ったり、改めて自身の立ち振る舞いを見直したりする機会を定期的に持つ取り組みをしています。

ホームページ委員会 担当・竹内



～信頼される看護を実現するために～

看護部長 片桐 恵美子

当院は療養病棟と障害病棟の慢性期病院です。

看護職員は、看護部の理念である「安心・安全な看護と信頼される看護」を目指して、毎日のベッドサイドケアの充実に心がけています。

患者さま・ご家族さまに看護の心が伝わるよう、看護職員一人ひとり誠実に温かな言動を心がけて患者さま及びご家族さまに満足して頂けるよう日々努力しています。



当院では、全看護職員（看護師、准看護師、ケアワーカー）の継続教育に力を入れています。

看護職員のキャリアアップを目指しています。up!

STEP1

STEP2

STEP3

STEP4

教育研修（平成27年度）



がん看護・緩和ケア研修

TRAINING



がんに対するケアを学ぶため、神奈川県立がんセンターのがん看護専門看護師清水奈緒美さんに講師として来ていただきました。事例を用いて、患者さまの立場になった痛みのメカニズムとコントロール方法などをお話していただき、看護ケアに生かせる学びでした。



出席者

具体的な事例での講義内容で学習になりました。痛みについて本格的な研修でした。看護介入の重要性を改めて感じました。

また研修後、看護部では**新たに“疼痛コントロールシート”を作成して使用を始めました。**

患者さまの痛みの程度の把握を皆で共有しやすくし、その対処方法を考える手段として活用しています。

知的障がい者について学ぶ研修

TRAINING

当院では、知的なハンディのある方やそのご家族への医療支援を行っています。外来を担当している内科医の高木医師より、知的障がいについて正しく理解し接することができるようお話していただきました。

この研修から看護部では、疾病をかかえる看護職員への関わり方に、他の看護職員が理解を深めるよう継続教育で伝えてノーマライゼーションの考えを実践しています。



研修・職業体験報告

介護職員の喀痰吸引等実地研修（当院は神奈川県の実地研修協力病院です）、中学生の職業体験などの受け入れをしています。

施設（自宅）で過ごす喀痰吸引などが必要な方に対して、介護職員が安全また適切に吸引や胃瘻などのケアができるよう、国の方針に沿って、指導のできる看護師が注意点などをお伝えして手技をマスターします。

実地研修の様子



実地研修の様子



毎年、近隣の横浜市立中学2年生（いずみ野、南希望が丘、岡津中学校の3校）からの職業体験を受け入れています。

院内で働くさまざまな職種の役割や設備の説明、布団カバーの交換などを看護師と一緒に体験してもらいました。

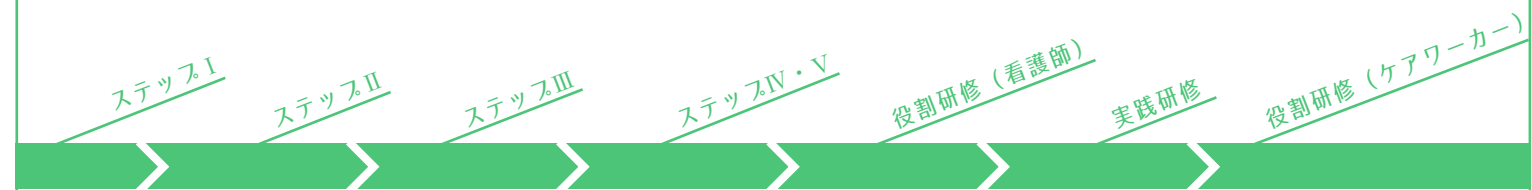
職業体験の様子



職業体験の様子

医療的なことをするだけでなく心のケアもされていて、優しさを感じました。自分も人の役に立ちたいと思いました！

看護職員の継続教育研修（平成27年度）



ケアワーカー向けの研修

TRAINING

「目標管理でキャリアアップ、**看取りの関わり方**」

10/21、11/25にケアワーカー全員が参加できるよう計画・実施しました。



看護部長より、目標管理は一人ひとりの自己実現のモチベーションアップにつながることを伝えました。そして、人の看取りに関わることは尊いことであり、**私たちの手と目と心でケアすること**を伝えました。



出席者

年の功をいかして、やわらかい心で患者さまやご家族と接することで、安心・安全そして信頼を感じてもらえる看護を目指していきたいです。

ステップⅣ・Ⅴ 教育研修

TRAINING

「**看護師の役割への期待と取り組みを考える**」

当院では今年度、病院機能評価受審を終えました。そこで看護部の組織力強化に向けた行動を振り返り、今後の看護ケアの質向上に向けた対策について学びました。

次に各自が自己の目標管理行動を発表し、5人の看護科長と共にグループワークを行いました。アドバイスなど語らいの場づくりとなり、また学びの確認ともなりました。



出席者

グループワークのディスカッションでは、看取りにおける看護行動にジレンマを抱いていたのは自分だけではないと確認ができました。先輩や同僚の意見を聞いたのは良かったです。